

もうちょっと くわしゅう

新型インフルエンザ
対策は万全にね!



キクちゃん

壹岐市道路占用料徴収 条例の一部改正について

Q 平成20年度徴収額との増減額と改定の周知方法は。

A 道路分164万3千円減、河川1万6千円減、都市公園3千円減、合計166万2千円減。

市報等で周知し、九電・N T T等の企業は文書で通知する。

平成21年度壹岐市 一般会計補正予算

Q1 新市町村振興宝くじ配分金の積算の根拠は。

A1 総額40億円。30%が均等割、70%が人口割。

Q2 コミュニティ助成事業の4自治会の事業内容は。

A2 箱崎本村自治公民館へ体育レクレーション活動用品(遊具)、石田浦会へお祭り用品(太鼓)整備、牛方触および西戸触自主防災組織へ防災備品。

Q3 簡易水道線出金は有利な起債には該当しないのか。

A3 財政健全化計画の下で地方債の借入はできない。地域振興基金からの繰入とする。

Q4 生ごみ処理機購入の補助金は代理人受領等で簡素化はできないか。

A4 委任状で対応できないことはないが、印鑑は必要。前向きに検討する。

Q5 インフルエンザ対策用マスクの購入予定数は。

A5 4千800枚。15歳以上79歳未満の人口の2割。15歳未満は休校、80歳以上の通所サービスは休止

等の措置を考慮して算定。
Q6 地籍図の修正関連・地籍測量調査費は当初予算に計上すべきでは。

A6 異議申立等により地籍図の訂正が多く発生し、修正に必要な費用が出た。

Q7 現地籍調査地区と完了年度は。

A7 八幡地区。芦辺町の完了が平成23年度予定。

Q8 生ごみ分別推進事業の内容・目的・委託先・官民協働ルームとの連携内容は。

A8 ごみ排出は平成12年度を基準とし、平成24年度までに13%削減する計

平成21年度コミュニティ助成事業内訳 (自主防災組織)

実施団体	牛方触自治会・公民館 自主防災組織	西戸触公民館 自主防災組織
決定額	2,000,000円	2,000,000円
助成対象	AED 放送設備一式 テント 発電機 草刈機 チェーンソー 投光機 消火器 メガホン 救急箱 ほか	AED 組立式水槽 テント 発電機 草刈機 チェーンソー 投光機 消火器 メガホン 救急箱 ほか
交付決定日	平成21年4月1日	

画であり、焼却ごみに占める40%の生ごみのリサイクルが必要で市民の協力が不可欠。アンケート調査や聞き取り調査で実態を把握する。自治公民館等で説明会を実施し、生ごみ堆肥の必要性・利用の推進を行う。リサイクル品の分別徹底、不法投棄の抑制等調査研究。廃食油のリサイクルステーションへの出し方、回収方法を調査研究。環境

に対する全般事項の推進事業等実施するよう委託。「壹岐島環境問題を考える会」がNPO法人化後、入札参加資格申請手続きをして頂き委託。委託費は人件費・車両・車のリース料・燃料費。

市民の目線に合ったごみ対策を推進し、市民と十分協議連携を図り、官民協働ルームで一体的に取り組む。

Q9 市で取り組むべき委託の必要はないのでは。

A9 「壹岐島環境問題を

考える会」と意見交換時に、行政だけではやれない。我々も頑張るので共同でやっていけないかとの強い気持ちがあった。

Q10 AEDの設置場所と取扱説明は。

A10 4庁舎、文化ホール、体育館等人の集まる場所。納入業者から職員に

対し、取扱説明を行って

いる。
Q11 要望書等は受けた段階で状況説明をすべき。

A11 対策を講じるよう協議する。
Q12 観光協会補助金は市としても意見を言うべき。

A12 観光協会の総意での要望ではなかったため、解決するまで予算は執行しない。
Q13 雨水タンク設置購入の補助金も必要では。

A13 直射日光の問題もあるが通常5〜6万円程度、ポンプ等必要になれば10万円程度。今のところ考えていないが検討する必要がある。

要がある。